



# 横芝

## 広報

### 横芝町の人口と世帯

<10月31日 現在>

人 口	12,395 人
男	5,903 人
女	6,492 人
世 帯 数	2,843 戸

### あすをきずく

## 青少年のつどい横芝町大会

### 留学外国青年を迎えて

明日の郷土をきずく青少年の意気

を示すとともに

青少年相互の連帯意識を強め、友愛と協力を、その健全な成長を更におし進めるため、「青少年のつどい横芝町大会」が十一月三日中学校体育館で盛大に開かれま



盛会の青少年のつどい横芝町大会風景

した。

大会には町内の青少年を中心に青少年対策関係者など千二百人が参加、主催者を代表する椎名町長の挨拶に始まり千葉県知事、郡町村会長、町議会議長からお祝いのことや、町内青少年代表の意見、体験発表ののち、働く青少年

八名の表彰、つづいて青少年団体代表の力強い大会宣言を行つたあと、町青少年相談員連絡協議会渡辺会長から「若人よ、しっかりと大地を踏みしめなさい。そして無限の天空を見上げ、上を向いて歩こう。これからは、吾等若人の時代です。皆で仲良く明るく大きく前進しよう」と若人に夢と希望を吹きこむ激励のことばは満場の青少年に深い

感銘を与えました。午後からは、千葉大学若月精三教授の率いる日本留学外国青年の流暢な自国語にカタコトの日本語を混ぜて、身ぶり手ぶりあざやかに意見発表がありました。終って大総小學校JRC団員から花束の贈呈に、くりかえし「アリガトウ」を連発しておりました。

このあとアトラクションがにぎやかにくり広げられ、最後に町青少年相談員伊藤副会長の閉会のことばによって幕を閉じ、尽きぬ名残を惜みながら解散しました。

(意見) 体験発表について は近々広報特集号を発行する予定です。ご期待ください。

### 酒飲み運転をなくそう

#### 自動車と飲酒の礼儀

いま県民運動を展開中ことしもあわただしい年の瀬がやってきました。年末年始は酒を飲む機会が多いところから例年酒飲み運転による交通事故が急激に増加しています。このため千葉県下では、県民総ぐるみによる「飲酒運転追放運動」を展開しています。酒による交通事故は、他の交通事故原因にくらべ、重大事故となる率がきわめて多く、酒を飲むと、注意力や速度に対する感覚がにぶり、運転が荒っぽくなりま

自分でもしっかりしている

席ですすめられて」というのが二十五パーセントも占めています。「お祝いだから……忘年会だから……」と酒をすすめることがかつては日本人のエチケットでした。

しかし、自動車を運転する人に対しては、これは通用いたしません。「きようは車です、それでは酒をすすめられません……」これが現代のエチケットです。

一方歩行者の間でも酒を飲んで道路をうろついているうちに交通事故で死亡するというケースがかなり多くなっています。特に交通量の多い道路ではこうした行為はぜひやめるようにしたいものです。以上のように、交通事故は家も身もほろぼすことを改めて考え、酒飲み運転をなくしたいものです。

#### 駅前通りに

#### 特殊信号機

横芝駅前交差点に特殊な交通信号機が取り付けられました。この信号機は、まず第一に県下で初めての全赤方式を採用したもので、一定時間四方の信号が全部赤となり、交差点の中が真空状態になる方式です。これによって、見込み発進や、信号無視が防止されます。

第二に歩行者専用の信号機が取り付けられたことです。これによって、歩行者は自分の正面の歩行者専用の信号をみて、赤で止まり、青になつてから横断歩道を渡れば安全です。